

通信

NO. 96
2021年1月号

ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目

33番11-702号

☎092-409-4177

今月のスケッチ

筑後川 2021. 1



新年最初のスケッチは、筑後川。今年中には、100号の作品に仕上がるだろうか。

スタ コラ

新年おめでと うございます。

大隈 信夫

2021年、令和3年を迎えた。

去年は、新年早々から“新型コロナウイルス”の流行によって、子どもたちの卒業式も入学式もない。登校すらできない事態や手指の消毒やマスク着用、ソーシャルディスタンスやアクリル板。仕事の仕方も「在宅ワーク」や「オンライン」が普及し、“新

型コロナ感染症”で国民生活は一変した。

去年の年頭に「2」並びの年「2つの針路を巡る大きな選択が迫られる年となるだろうとの予感」と述べて迎えた。

しかし、「必ず総選挙」の予想は外れたが、“我が世の春”を誇り「憲政史上最長」を豪語した“アベ一強”も“サクラ”のほころびで、あっけなく崩壊し、“後継スガ”

も学術会議任命拒否”や“コロナ対応無策”が露呈し、早々に行き詰まりを見せている。

2020年「庚子（かのえ・ね）」。「変化が生まれる状態」「新たな生命がきざし始める状態」とする古来からの十干十二支の“占い”は生きているようだ。

さて、2021年の干支は「辛丑（かのとうし）」。「どんな年になるのだろうか。」

「辛」は「草木が枯れ、新しくなろうとしている状態」、「丑」は「種から芽が出ようとする状態」という。

今、国民の命と暮らしは、「経済再生」を最優先とするアベ・スガ政権のもとで、いまだ“新型コロナウイルス”の終息は見通せず、重大な危険にさらされている。

こうした状況に「なぜ国民の命と暮らしが大事にされないのか」、「本当に経済の再生優先でいいのか」と、後手後手の無策への



昨年はお世話になりました
本年もよろしく願いたします
令和3年 元旦

総研

代表取締役 大隈 信夫

ビジネス総研株式会社

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702

TEL 092-409-4177 FAX 092-409-4170

URL <http://www.b-souken.com>

E-mail : office@b-souken.com

批判が広がっている。

「“自助・共助・公助”の順番が違う」、「国の予算はもともと国民のもの、政権の都合で運用するのは国民主権をないがしろにするもの」との批判もある。

2021年は、こうした、新自由主義と国民主権の本質的な対立がいつそうあぶり出され、“新しい芽吹き”が感じられる年になるだろう。

延期されたオリンピックは「開催できるのか」、「商業化したオリンピック」は、今後どんなオリンピックになるのか。

新型コロナウイルスへの対応では、世界的にはワクチンの開発が伝えられ、治療方法と治療薬の研究開発が続けられ、一定の成果は期待できるだろう。

今年は、国の動向を左右する総選挙も実施され、新たな芽吹きのために選択を誤らないようにしたい。



Relationship & Partnership
ビジネス総研



映画大好きの山ちゃんが、毎回、自分の言葉で執筆します。

山ちゃんの映画観ておぼえ

i-新聞記者ドキュメント



監督：森 達也
出演：望月衣塑子

映画賞総ナメの話題作「新聞記者」のモデルとなった東京新聞社・社会部の望月衣塑子記者に密着するドキュメンタリーです。

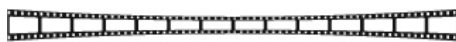
マスコミは、安倍長期政権の内実を様々報じてきましたが、そのなかで、菅新総理が掌握していたと言われているのが、官僚の人事と情報操作です。

国民に何を知らせ、何を知らせないか。その情報を手に情報が欲しい記者たちを抱え込む。

国民への窓口として行う定例の会見でのあらかじめ決められた質問と答えのやりとりは、国民の「知りたい」に答えることなく、政府が「いい」と言う情報だけを垂れ流す場と化していました。

今の日本は、まともじゃない〜このドキュメンタリーを観て、

本当の真実を知ってもらう為、一人でも多くの人達に観賞してもらいたい作品です。...



くまさんのコンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

民主主義と「神官政治」

菅首相による日本学術会議の会員任命拒否をめぐる批判が続いている。

「法がない時は、神官の胸三寸で決まっています。今回の菅義偉首相のやり方は、ある意味、神官政治です。理由は誰も知らない。知っているのは菅首相のみ。まさに『神のみぞ知る』なのですから」――。

これは、創立以来、初めての抗議声明を出したイタリア学会の藤谷道夫会長の言である。

さらに、「民主主義はギリシャと古代ローマで芽生え」「物事を法律化することで「闇をなくしてゆく」と、続けて「ローマ法の体系づくりは、地中海の明るい光を当てて闇を除去する作業」「ローマ人が目指したのは『光の政治』です。一方、安倍政権では隠す、改ざんする、破棄すると、どんどん『闇の政治』の拡充に努めてきました。」とも。“声を上げざるを得なか

った”本質を突いた批判と抗議である。

「日本では暴力を伴わない『静かなファシズム』が進行し」「気が付いたら、私たちは『ゆでガエル』になっていないか、危惧しています。」と、警鐘を鳴らされている。

「神官政治」は彼の隣国では通用するかもしれないが、法治主義と民主主義とは相いれない。

今年、その法治主義・立憲主義と民主主義を問う総選挙が実施される。

“コロナ禍”国民の意識は変化し、本質を見抜いてきている。



編集後記

一月には大寒波に襲われ、九州では、あまりない大雪で、庭木もすっかり雪化粧です。



近所の子どもたちは、寒さなど気にならない様子で大喜び。そこかしこの庭先にいくつもの雪だるまが並んでいました。



Relationship & Partnership
Bビジネス総研
ビジネス総研株式会社
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170
 Eメール kuma@b-souken.com
<https://www.b-souken.com>